

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
新世代モバイル通信システム委員会（第24回）

－ 議事概要 －

1 日時

令和4年12月16日（金）14:00～14:30

2 場所

WEB会議

3 出席者（敬称略）

（1）委員等

三瓶 政一（主査代理）、岩浪 剛太、内田 信行、大岸 裕子、上村 治、  
河東 晴子、児玉 俊介、小西 聡、浜本 雅樹、藤本 正代、藤原 洋、  
町田 奈穂、三好 みどり、山本 祐司、渡辺 望

（2）総務省

荻原 直彦（電波政策課 課長）、田口 幸信（基幹・衛星移動通信課 課長）、  
山口 真吾（電気通信技術システム課 課長）、中村 裕治（移動通信課 課長）、  
入江 晃史（移動通信課 企画官）、高橋 文武（電波政策課 室長）、  
赤川 達也（移動通信課 課長補佐）、平野 裕基（移動通信課 課長補佐）、  
中川 隆人（移動通信課 第二技術係長）、  
高木 世紀（移動通信課 システム企画係長）

4 議題

（1）委員会報告（案）「携帯電話の上空利用拡大に向けたLTE-Advanced（FDD）等の技術的  
条件等」に対する意見募集の結果について

事務局より、資料24-1及び資料24-4に基づき、委員会報告案に対する意見募集の結果  
について説明がなされた。特段の質疑はなかったため、案のとおり委員会報告及び委  
員会の考え方として取りまとめ、委員会報告については情報通信技術分科会において答  
申案件として諮ることとなった。

また、事務局から、令和5年1月24日に予定されている情報通信技術分科会に答申  
案件として諮るよう手続を進める旨、説明があった。

（2）「狭帯域LTE-Advancedに関する技術的條件」の検討開始について

事務局より、資料 24-5（「新世代モバイル通信システムの技術的条件」のうち「狭帯域 LTE-Advanced に関する技術的条件」の検討開始について）に基づき説明がなされ、以下の発言があった。

大岸専門委員：新しい帯域の検討を進めるということで、国民が使える帯域が増えるということと理解した。検討開始の提案について感謝するとともに、共用や技術についてまだまだ課題があると思うので、アドホックグループにおいて、検討いただきたいと思う。全ての国民に対して周波数が有効活用されることを期待する。

### （3）その他

事務局より、次回会合については来年 2 月頃を予定しており、詳細が決まり次第、改めて連絡する旨案内があった。

以上